第 21 回ソウル国際総合電気機器展 2016　報告書

平成 28 年 10 月 26 日
(一社)日本電設工業協会
資　材　委　員　会

一般社団法人日本電設工業協会（JECA）は、平成 28 年 10 月 5 日(水)から 10 月 7 日(金)までの 3 日間、韓國電機産業振興會（KOEMA）が主催する第 21 回 Seoul International Electric Fair 2016（SIEF2016）に、JECA FAIR 2017 への出展誘致および当協会活動の案内を目的に出展した。

電気設備メーカー団体である KOEMA と JECA は両会の業界発展に資することを目的に、それぞれの展示会に出展し相互交流と親睦を図っている。SIEF2016 には、JECA FAIR を担当している資材委員に派遣を依頼し、事務局と合わせて 4 名が参加した。詳細は以下の通りである。

（1）基本情報

①展示会名	Seoul International Electric Fair 2016（SIEF2016） http://www.sief.co.kr/sief_2016/english/main/main.html
②テ ー マ	Electricity illuminates the world（電気で世界を照らす）
③主 催 者	韓國電機産業振興會（KOEMA） http://www.koema.or.kr/koema_e/greeting/greeting.html 韓国電力公社（KEPCO）
④後　　援	Ministry of Trade,Industry and Energy（産業通商資源部） ※日本の経済産業省にあたる。
⑤展示品目	発電用機器、電動機及び発電機、変圧器、遮断器、配電盤、静止機器、開閉装置、電線、配線器具、継電器、計測器、工具、LED 照明、その他電気機器（重電機器を中心とした展示会）
⑥出展期間	2016 年 10 月 5 日(水)～10 月 7 日(金)の 3 日間
⑦参 加 者	嶋田雅景副委員長（㈱クリハラント）、富井弘之副委員長（旭日電気工業㈱）、島瀬直美委員（中央電設㈱）、中根洋樹（事務局）　　以上 4 名
⑧出展者数	217 社（前年度 195 社）・430 小間（前年度 500 小間） うち海外 6 ヵ国 13 社（中国、イギリス、インド、ベトナム、マレーシア、日本）
⑨入場者数	10,005 人
⑩会　　場	COEX ホール B（展示面積 7,290 ㎡） （住所：ソウル市江南区三成洞 159 番地）

(2) 概要

第 21 回目の開催となる SIEF2016 は、ソウル市江南区の COEX1 階「ホール B（7,290 ㎡）」で、「Electricity illuminates the world（電気で世界を照らす）」のテーマの下、出展者数 217 社、小間数 430 小間の規模で開催された。

隣接するホール A（10,368 ㎡）では、「Smart Grid Expo」、「Inter Battery」、「EV Seoul」、「International Climate Charge Expo」の 4 つの展示会が開催されており、SIEF と併せた 5 つの展示会を「Energy Plus」として、エネルギー関連の総合展示会と位置づけている。

SIEF2016 の出展者数は昨年から 22 社増加したものの、小間数は 70 小間減少した。その要因として、Energy Plus の 5 つの展示会で使用ホールを順番に廻していることから、今年は規模の小さいホール B に移動し、小間数を制限せざるを得なかったようである。

会期初日の 11 時過ぎには、ホール B 前で来賓、関係団体、「Energy Plus」の各主催者代表者、出展代表者の総勢 13 名によるテープカットで開会した。

【テープカットの様子】

参考）SIEF2015「3 階ホール C（10,348 ㎡）」→SIEF2016「1 階ホール B（7,290 ㎡）」

参考）JECA FAIR 2015（東京開催）は、220 社・663 小間、東京ビッグサイト西 1・2 ホールの展示面積は 17,760 ㎡である。

Electricity Generation Equipment	Smart Grid	Secondary Battery	Electric Vehicle	Climate Change
Seoul International Electric Fair	Korea Smart Grid Expo	InterBattery	EV Seoul	International Climate Change Expo
Korea Battery Industry Association, Korea Electric Power Corporation, and 6 other Electric Power Associations	Korea Smart Grid Association, and Coex	Korea Battery Industry Association, and Coex	Coex	Climate Change Center, and Coex
Transmission and Development of Electricity, Generation, and etc.	Smart Communication Equipment/ Technology, Smart ICT Solutions, Smart Electricity Distribution Apparatus, Energy Storage System, Smart Power Generation System, and etc.	Rechargeable Battery, Capacitor, Materials and Components, Manufacturing Equipment, Test/ Measurement Equipment, and etc.	Complete Vehicle, Components, Materials, Infrastructure/ Service, and etc.	Climate Catastrophe Prediction/ Prevention Technology, Zero-Energy Building, Smart Factory, Resource Circulation Society, 2030 e-Life Style, Climate Industry Development Policy, Climate Industry Exemplary Cases, Climate Change Policy and Technology, and etc.

【Energy Plus の各出品分野】

(3) JECA ブースの位置と全体の配置

JECA ブース（1 小間（3m×3m））は、会場の中央に配置され両隣を挟まれたブースであった。

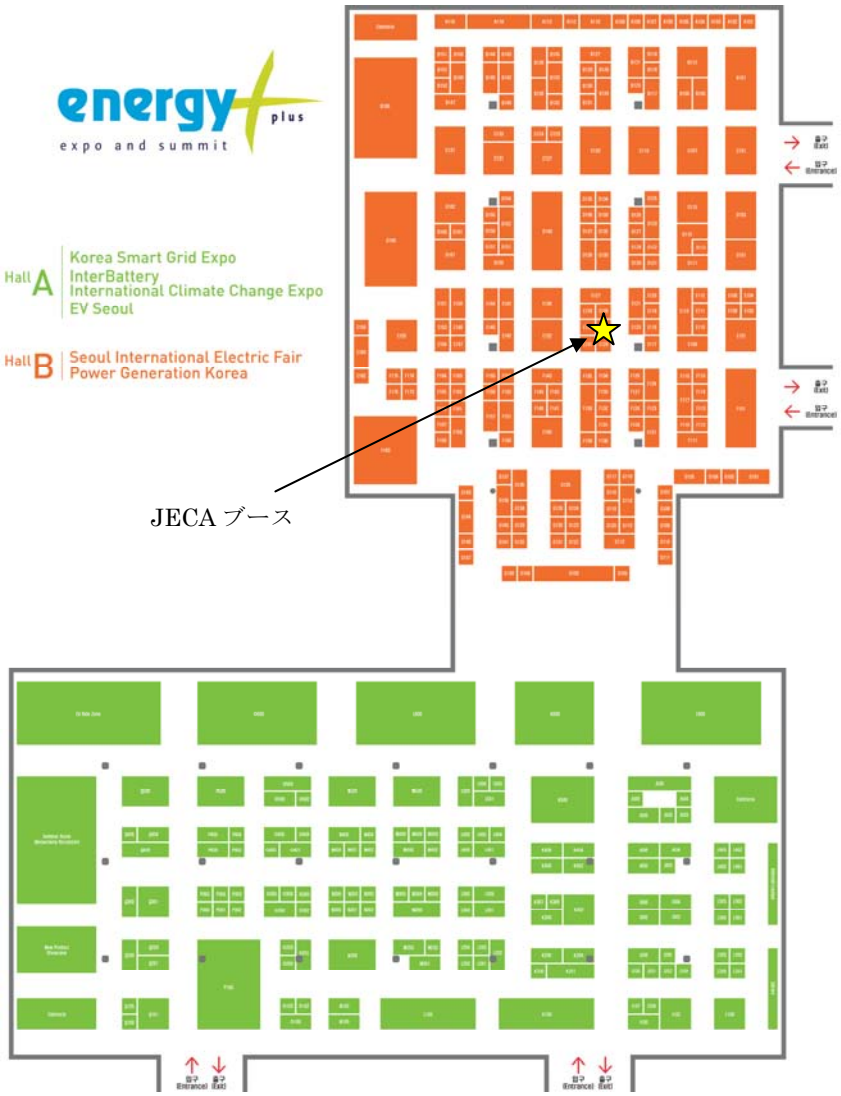
例年、会場の中央には、LS や HYUNDAI、HYOSUNG といった大手の重電メーカーが壁のように配置され、会場後方は分断されたように人通りが少なかったが、今年は、大小間を会場の奥に、小さい小間を入口側に配置していた。大小間を会場の奥に配置する方法は、来場者を奥に誘導する効果があり、JECA FAIR の配置と同様であった。

【JECA ブース】

しかし、使用ホールが小さくなったことで隙間なく配置された会場内は見通しが悪く、天井高が日本の会場より低いことも圧迫感を感じさせた。

参考）東京ビッグサイトの天井高 12m、COEX の天井高 9.5m

【会場全体図】



(4) JECA FAIR 2017 の出展誘致活動

JECA FAIR 2017 の出展誘致活動は、ブースでは「出展概要（ハングル版）」を配布したほか、JECA FAIR の雰囲気を知ってもらうため、JECA FAIR 2016 の映像（英語字幕入り）を流すとともに、協会概要及び JECA FAIR 2017 実施概要のタペストリーを掲示しPR した。

JECA ブースには、過去に JECA FAIR に出展実績のある Light Star Co.,Ltd.（計測器の製造会社）の林社長が来訪し、J&D Electronics Co.,Ltd（JECA FAIR 2016 出展企業）と共同で 4 小間の出展を希望しており、出展申込の日程や申込方法について説明を行った。

会期最終日には、JECA FAIR 2017 の「出展概要（ハングル版）」を全ブースに配布し、出展の要請活動を行った。

【JECA ブース前で、Light STAR Jin-gyu,Lim 社長と】

(5) 日系企業の出展

日系企業は、共立電気計器㈱の代理店（SEJIN INSTRUMENT CO.,LTD.）、㈱東光高岳の子会社(TAKAOKA TOKO CO.,LTD)、(一社)日本電設工業協会(JECA)の 3 社・団体の出展であった。例年出展していた日系企業の東和サプライ、マーベル、栃木屋、泉精機製作所は出展を見送ったようである。

ホール A で開催していた他展では、アズビルや横河電機が計測機器を展示していた。

(6) KOEMA の張会長と懇談

会期前日、KOEMA の張会長と南副会長、李理事、朴室長の 4 名を表敬訪問し、JECA FAIR 2016 の出展お礼と JECA FAIR 2017 の会員企業への周知の要請を行った。

(7) セミナー技術発表等

COEX の 3 階会議室で「SIEFCON（Conference）」としてセミナーや講演会、技術発表を活発に開催していた。各講演・セミナーのテーマは以下の通り。

●カンファレンス

◎メイントピックス

産業政策／次世代技術
将来の韓国電気産業
電力機器の R&D 投資の戦略
次世代テクノロジー
電力設備の設計と運用経験

スマート電力機器
環境にやさしいスキーム
電力設備の改修のための最適設計および試運転の実践
再生可能エネルギーのコンバージェンス/統合アプリケーション
太陽光・風力発電と ESS"
マイクログリッドと再生可能エネルギー
島のエネルギー自給
電気運転とその応用
電気自動車用パワートレイン
EV インフラとアプリケーション
トラクションアプリケーション用のハイパワー電動システム

◎ワークショップ

CMD ワークショップ
戦略 CMD 計画と資産管理
電源装置の寿命評価
新しい CMD HVDC のための技術と環境に優しい電源システム
HVDC ワークショップ
ライン転流コンバータと HVDC
HVDC コンバータ　モデリングと制御
AC システムと HVDC の相互作用
障害管理と HVDC 保護
電源コンバータとモジュラーマルチレベルコンバータ、HVDC
VSC と MMC のモデリング、制御と操作
AC および DC 断層の下 VSC と MMC の HVDC
AC グリッドのサポートのための VSC と MMC HVDC 操作

◎特別セッション

電力産業の展開

●セミナー

SMP 現実化案/ LNG 複合火力収入の安定化方法
電子入札の教育

●基調講演

エネルギー産業のトレンドと展望

●エネルギー事業セミナー

エネルギー需要管理の R&D 政策
世界のエネルギーのパラダイム変化と対応策
再生可能エネルギー別の政府支援
標準認証の推進現況
太陽光産業の現状

●発電分野の技術セミナー

発電用ガスタービンの展望
オンラインを活用したグローバル流通網

(8) まとめ

昨年からエネルギーの総合展示会「Energy Plus」の一展示会として再スタートした SIEF は、重電機器中心ではあるものの、僅少ではあるが太陽光関連機器（パネル、パワコン、架台）や IoT 関連製品など目新しい製品も展示されており、今後の更なる発展に期待を寄せた。

SIEF は出展企業と目的を持った国内外のバイヤーによる商談の場という位置付けであるため、バイヤーが最新のビジネス情報の収集、パートナーの物色やビジネスチャンスを得ようとする活動を強く感じた。海外バイヤーの来場者比率は約 15%で、JECA FAIR の海外来場者（0.1%）と比較すると国際色豊かである。その大半はアジア系の来場者が主であると見て取れた。東南アジア諸国の工場では韓国製品を採用しているということを仄聞するが、内需が低迷し外需に依存する韓国では、製品を始めインフラにおいても海外輸出を国を挙げて進めているのであろう。

東南アジア諸国において、日系電気工事会社が受注し、日本の電気設備製品を採用するには価格競争力という大きなハードルがあり、日本政府の支援は必要不可欠であり日本が総力を挙げて取り組まなければ勝機は無いと感じた。

(9) 次回の SIEF2017

2017 年 10 月に COEX で開催予定である。

以上